

令和6年度東京都入札監視委員会第2回制度部会（東京建設業協会との意見交換会）審議概要

開催日及び場所	令和7年1月22日（水） 東京都庁第二本庁舎 25階 114会議室
出席委員	東京大学大学院工学系研究科教授 堀田昌英 愛知大学地域政策学部地域政策学科教授 斉藤徹史 （元）品川リフラクトリーズ（株）代表取締役副社長 仲田裕一 （敬称略・計3名）
審議事項	(1) 都の入札契約制度等に関する要望について (2) その他報告等
議案の概要	一般社団法人東京建設業協会からの都の入札契約制度等に関する要望について意見交換を行った。
委員会による審議結果報告	—
事務局からの報告	・「入札契約制度改革本格実施後の状況（6年経過）」について
委員からの意見等の概要	(1) 一般社団法人東京建設業協会からの要望 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 働き方改革の推進                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 適正な工期での発注の徹底</li> <li>➢ 予定価格の適正な設定</li> <li>➢ 設計変更の円滑化</li> <li>➢ 工事・検査書類の削減・簡素化</li> <li>➢ 業務環境の改善</li> </ul> </li> <li>2. 入札契約制度の改善                         <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 総合評価方式における課題                                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都発注工事の実績のない企業の受注機会確保について</li> <li>・「配置予定技術者の実績点」等の配点について</li> <li>・「事故及び不誠実な行為の実績点」の減点措置について</li> </ul> </li> <li>➢ 低入札価格調査制度の厳格な運用</li> <li>➢ 配置予定技術者の最終確認時期について</li> <li>➢ 入札公告時における見積参考資料の提供</li> <li>➢ 技術者育成モデルJV工事について</li> </ul> </li> <li>3. 高騰する建設資材価格等への対応</li> <li>4. 建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及促進</li> </ol> <li>(2) 入札監視委員会制度部会委員からの質問等                 <p>【委員からの質問等】</p>                 発注者、設計者、施工者による会議（三者会議）について、具体的にどのような効果があったかということをお願いしたい。</li>

中小規模の工事も含めたCCUSの普及が課題として挙げられているが、

都発注工事と他の公共発注者工事を比較して、受注者の立場からどのようにご覧になっているかを教えていただきたい。

**【業界団体の回答】**

三者会議を行うことで、工程の遅れの責任の所在や、設計の見直しの要否など、問題点が具体的に出てくる。また、現状での最適工期を全員で共有することで、仕事が進めやすくなるという効果は、私も感じたことがあるので、適宜やっていただければありがたいと思っている。

CCUSについて、技能労働者を安定的に就労という大きな命題があるが、登録料等がかかるわりにメリットが見いだせないという意見が中小企業から出てきている。工事成績評定で加点する等のメリットが見えてくれば、中小建設業において進展するのではないかと要望している。

**【東京都の回答】**

三者会議に関して、財務局が発注する建築工事においては、工事監理者（設計者）、施工者及び発注者が一堂に会する定例会を週に1回開催し、電気工事と機械工事を含めた総合図を確認するなど、常に関係者で協議しながら進めている。

**【委員からの質問等】**

都の実績のない優良企業の受注機会を確保するよう改善をお願いしたいとある。他方で発注者として、実績をとということも理解できる。協会としてどういった内容を改善すればいいのか具体的な提案のようなものがあればお聞かせいただきたい。

社会的に議論となっている労働者の賃上げの取り組みの状況と、賃金を上昇させるにあたっての課題がありましたら、ご教示いただきたい。

**【業界団体の回答】**

施工能力審査型等において、技術点の半分が東京都の実績であり、東京都の実績がないと入り口にも立てない。このウェイトを少し下げてくださいか、あるいは、他団体の同種工事を実績と認めるなど工夫の仕方があるのではないかとということで検討をお願いしたい。

賃上げの取り組み状況について、資材価格の高騰や時間外労働の上限規制などもある中、賃上げもしなくてはならないということで、大幅な生産性向上を図っていかなければならないという問題がある。

担い手確保というところで、他の産業に負けないよう賃上げをしなければならぬことは理解しつつも、経営が厳しいので、先生方をはじめとして、行政の方のお力添えをいただきたいと思っている。

**【委員からの質問等】**

競争環境を作っていくのが重要なことだと思うが、状況が悪くなっていると感じている。なぜこういう状態になっているのか、コメントをいただきたい。

**【業界団体の回答】**

去年の異常さというのは、特に物価の上昇はこれまでになかったようなことで、予定価格が低すぎて取り組む業者もいなくなっている。なおかつ、時間外労働の問題があり、それがダブルで重なっている。施工時期が平準化や、物価高が収まり、時間外労働に対する工夫が効いてくると落ち着いてくると思う。

**【東京都の回答】**

資材や労務の高騰、技術者不足が考えられるのかと思っている。あるいは、民間工事を含めた工事全体の発注の動向というものが影響しているのかなとも推測している。

以上

[その他]

特になし